

生誕130年記念

梅原 龍三郎

浅間山と共に過ごす夏展

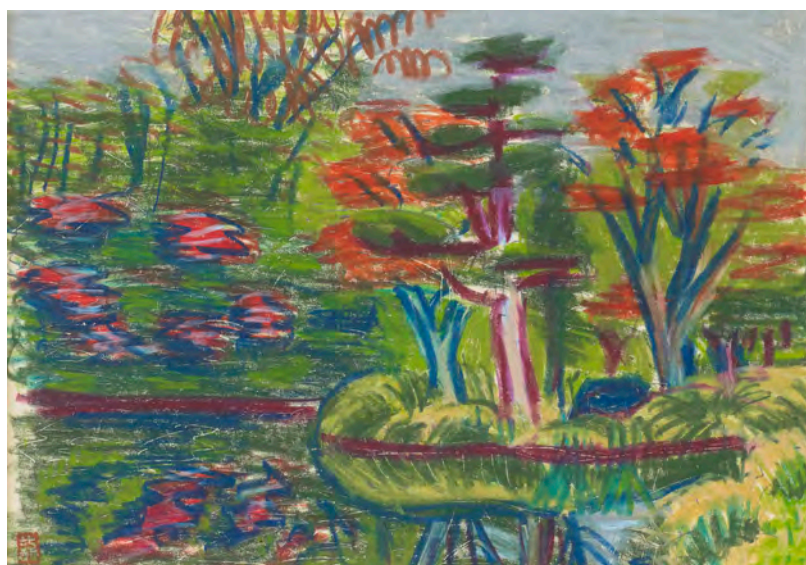
2018年7月20日(金)–9月3日(月)会期中無休

軽井沢千住博美術館 ギャラリー

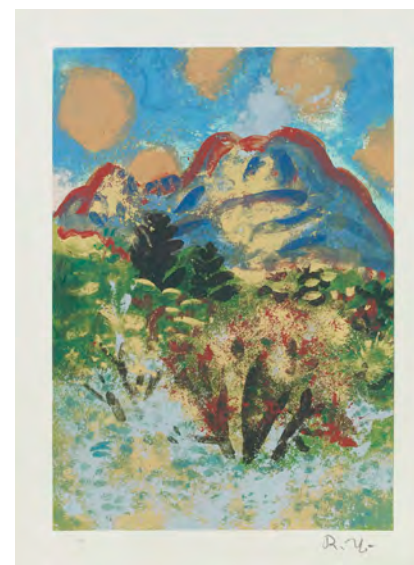
(開館時間 9:30 – 17:00 入場無料)



「浅間山」水彩26×18cm



「軽井沢風景」パステル21.5×28cm



「浅間」シルクスクリーン版画
45×34cm 1983年制作



特別イベント

8月4日(土) 14:00 – 15:00 (於 ギャラリー 観覧自由)

対談 嶋田華子(梅原龍三郎曾孫) × 永井龍之介(永井画廊代表)

企画

エイ・ケイ・ジェイ
永井画廊

生誕130年記念 梅原龍三郎 浅間山と共に過ごす夏 展

○企画趣旨

本展は洋画家・梅原龍三郎(1888-1986)の創作活動のうち、浅間山を主題にした作品を立体的に展覧することを目的とする。

梅原は1888年に京都の悉皆屋に生まれ、1903年、浅井忠が自宅内に開設した聖護院洋画研究所に入り洋画を学ぶ。1908年に田中喜作と共にパリに渡り、ルノワールに師事する。滞在中は『白樺』にルノワールの近況報告、芝居や絵について寄稿している。

5年の滞在を経て帰国後は、雑誌『白樺』同人主催の「梅原良三郎油絵展覧会」の開催をきっかけに一躍脚光を浴びる。その後、梅原は独自の油絵様式を模索し、豊かな色彩や豪快で自由奔放な作風で知られるようになる。

梅原芸術は色彩豊かな画面構成、中でも勇壮な浅間山から噴煙が上がる構図の連作や、富士山、桜島をはじめ、火山を主題に多くのファンを集めてきた。そこで本展では開催地にゆかりのある「浅間山」を主題として、各コーナー展示をつなぐことにより、浅間山が多彩に表現されてきたことを示す。

梅原は戦後に吉田五十八氏に設計を依頼してアトリエを構えて以降、毎夏を軽井沢で過ごした。

その画業の締めくくりとなる絶筆もまた浅間山である。

本展では、画伯が浅間山を制作する際に用いたイーゼルやパレット等を併せて紹介することにより、梅原芸術を支えた美の世界を立体的に再構成したい。

嶋田華子

梅原龍三郎は京都に生まれ、日本の伝統美に育まれた粋な感性とフランスで学び培われたエスプリを止揚し、洋の東西を超えた豪華絢爛たる独自の絵画を生み出した日本が世界に誇る不世出の画家です。

「北京秋天」「紫禁城」「富士山」「カンヌ」「薔薇」などと並び代表作として知られる「浅間」シリーズ。

梅原は戦後別荘アトリエを構えた軽井沢で、毎年夏から秋にかけて過ごし、名作を数多く残しました。

このたび生誕130年を記念して、改めて“軽井沢の梅原”に焦点をあて、水彩、パステル、デッサン、版画など様々な技法による生命感にあふれた鮮やかな「浅間」の連作を展覧いたします。

また関連写真、資料なども合わせて展示、梅原と軽井沢との深い関係を偲ぶ貴重な企画になりました。

20世紀を代表する名画が、現在軽井沢で最もホットなアートのスポットの新しい息吹きのなか一層輝きを増し、より多くの皆様へアピール出来る貴重な機会になることと存じます。

本展開催にあたり、ご協力、ご尽力を頂きました梅原家ご遺族の皆様、並びに美術館関係者各位に御礼を申し上げます。

2018年7月吉日
永井龍之介

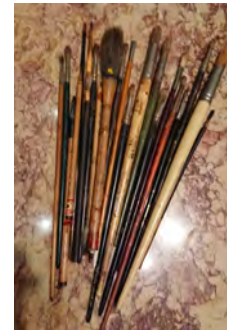
尚、展示作品につきましては、永井画廊（東京都中央区銀座8-6-25 河北新報ビル5F TEL:03-5545-5160 FAX:03-5545-5180 E-mail: info@nagai-garou.com）まで、お問い合わせください。



「浅間山」水彩26×18cm
1973年



「紅葉」パステル21×17cm
1957年



＜展示作品等＞

- ・軽井沢、浅間を描いたパステル、水彩、デッサン、版画、
- ・使用していたパレット、筆、イーゼル、椅子
- ・関連写真

軽井沢千住博美術館

〒389-0111

長野県北佐久郡軽井沢町長倉815

TEL 0267-46-6565 FAX 0267-46-6644

<http://www.senju-museum.jp/>

[ギャラリー] 入場無料

[本館] 一般 1,200円

大学生・高校生 800円

中学生以下・障害者無料

■ 本展開催期間中、本紙1枚のご持参により、最大5名様まで、[本館]の入館料が100円割引となります。(但し、他割引との併用不可)

＜梅原龍三郎 略歴＞

- 1888 京都生まれ
伊藤快彦の画塾、浅井忠主催聖護院洋画研究所に学ぶ
- 1908 渡仏 アカデミージュリアンに通う
ルノワールに師事
帰国後、白樺主催による個展
- 1914 二科会創立に参加
- 1922 春陽会結成、その後国画創作協会
- 1935 帝国美術院会員
- 1944-52 東京美術学校
(のちの東京藝術大学) 教授
- 1952 文化勲章受章
- 1986 東京で没(享年98才)



[交通案内]

■電車をご利用の場合軽井沢駅(JR北陸新幹線・しなの鉄道)下車、タクシー約10分中軽井沢駅(しなの鉄道)下車、タクシー約5分両駅からのアクセスには、バスのご利用も可能です。

■お車でのお越しの場合

上信越自動車道碓氷軽井沢インターチェンジより車で約15分

1. インター出口(国道92号・軽井沢方面)
2. 直進Y字路(国道43号)
3. 右方向直進南軽井沢交差点(国道18号[軽井沢バイパス])
4. 左折直進約3.1km左側

■駐車駐輪車

60台、自転車30台、大型バス5台収容可能